

IP 水性マルチコート

防火材料等認定 認定番号【NM-8585/QM-9816/RM-9364】
 く低VOC トルエン・キシレン ゼロ配合 F☆☆☆☆(I01114)

Ver.1 2021

異なる基材が混在する現場において、一品種の塗料で塗装できる水系1液型多用途塗料！

IP水性マルチコートは、幅広い種類の基材が混在している一般内外装現場において、異なった基材に対してそれぞれのプライマー処理の必要がなく、一品種の塗料で塗装できる高い密着力を有する水系1液多用途塗料です。また、特に同一色で塗装される場合は、養生にかかる作業時間・養生資材（マスキングなど）の使用量を最小限に抑えることができますので、時間短縮による作業の効率化がはかれ、経済的です。さらに、疎水性塗膜形成に加え防カビ・防藻・防錆効果を付与することにより、長期にわたりカビや藻、サビの発生を抑制します。

また、環境面においてはF☆☆☆☆対応はもちろんのこと、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質をまったく含みませんので、新設はもとより塗り替え現場において安心してご使用いただけます。

特長

IP水性マルチコートは、水系塗料では塗装が難しいとされる亜鉛メッキ鋼板などにおいて、サビ止め塗料・プライマーなどの必要がなく、市販の水系塗料はもとより、油性ペイント（SOP、FE）などをはるかに凌ぐ驚異の密着性と柔軟な塗膜を形成します。

また、艶については艶有り・艶消し（3分艶相当）・5分艶調整の設定があり、それぞれの艶に対して豊富な原色（17色）を設定していますので、淡彩色、および濃彩色はもちろんのこと、今まで水系では難しいとされていたあざやかな色調への幅広い調色対応を実現します。



施工例（基材：亜鉛デッキプレート・鉄骨・スレート・硬質塩ビパイプなど）

用途

〔 一般内外部の壁面、および天井面 〕

- ・耐火石膏ボード
- ・亜鉛メッキ鋼板
- ・鉄部面
- ・カラートタン
- ・硬質塩ビパイプ
- ・モルタル、コンクリート面
- ・スレート
- ・ガルバリウム鋼板
- ・ステンレス鋼板、アルミ板
- ・木部面、その他

防カビ・防藻性



●防カビ試験（貼付法）

試験片の裏面を寒天培地上に貼付し、4菌種の混合孢子込んだ懸濁液を噴霧し27℃で7日間培養した後、カビの繁殖度を観察する。
 (JISZ2911準拠)

色目、および荷姿

製品名	艶	設定色	原色(17色)	荷姿
IP 水性マルチコート	艶有り 艶消し 5分艶調整※1	ホワイト シルバー※2	対象製品設定原色 共通色見本 参照※3	15kg 3.5kg

(注) 淡彩色、および濃彩色への調色ができます。

※1 5分艶への艶調整ができます(別途調整料が必要)。

※2 設定色 シルバーは艶有りのみです。

※3 受注後の納期回答となります。

仕様書

■標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間	施工面積
素地調整	・ゴミ・ホコリ・油脂類などの付着物、および劣化した旧塗膜は、適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に取除いてください。 ・旧塗膜が活膜の場合は、サンドペーパーにて目荒らしを行ってください。 (その他、塗装基材により仕様が変わるため下記参照)					
下塗り	IP水性マルチコート	3~5% (清水)	0.12~0.13kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	下塗り + 上塗り 60~65m ² /1.5kg 14~15m ² /3.5kg
上塗り	IP水性マルチコート	3~5% (清水)	0.11~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	—	

〔各基材による素地調整〕

鉄部面・亜鉛メッキ鋼板・ガルバリウム鋼板・カラートタン・ステンレス鋼板・アルミ板・硬質塩ビパイプなど

- 新設の場合は、油脂などが付着している場合がありますので、必ず前処理として脱脂を行ってください。
 - サビの発生がある場合は、3種ケレン^{※1}を行い、前処理としてIP水性メタルコートサビ止め^{※2}を使用してください。
 - 内部鉄部面の不陸調整については、IP水性メタルパテ内部用を使用してください。
 - 塩ビ鋼板など可塑性が含まれる基材への塗装については、塗膜に悪影響をおよぼしますので塗装はお避けください(別途、塩ビ素地専用塗料のIP軟質塩ビコートSiを用意しています)。また、表面にポリオレフィン(PO)、ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)などで薄くコーティングが施されている箇所への塗装はお避けください。
 - 本製品の用途以外、および表面処理・番手(ステンレス鋼板・アルミ板)などが不明な特殊な素地への塗装についてはお問い合わせください。
- ※1 活膜を残し、劣化部分を除去する方法(工法は手工具を主用してワイヤーブラシを併用する作業)
 ※2 清水にて0~5%希釈を行い、塗布量0.15~0.18kg/m²(1回塗り)にてタッチアップ塗装
 (注) シルバー色に塗装される場合は、下塗りにIP水性メタルコートサビ止め グレーにて前処理

耐火石膏ボード・モルタル面・コンクリート面・スレートなど

- 新設のモルタル・コンクリート面の場合は、pH10以下、含水率5%以下になるまで養生放置(約4週間以上)
 - 表面にエフロレッセンスやレイタンスなどの脆弱層がある場合は密着不良を起こしますので、ワイヤーブラシやサンドペーパーなどの適切な除去方法を用いて、完全に取除いてください。
 - モルタル・コンクリート面などアルカリの影響をうける恐れがある場合、または吸い込みムラのおそれがある場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー^{※3}を使用してください。
- ※3 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)

木部面など

- 劣化層は十分に除去し、よく乾燥を確認(含水率15%以下)
 - シミ、ヤニの発生がある場合、または木材の吸い込みが激しい場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー^{※3}を使用してください。
 - 素地の劣化が激しい場合は、適切な除去方法を用いて十分に取除き、IP木部フィラー^{※4}にて凹凸・吸い込みなどを調整
 - クギ頭などのサビはサンドペーパーなどを用いて十分に除去し、IP水性メタルコートサビ止め^{※2}にて前処理
 - 特殊な加工や薬剤処理(不燃処理・防虫処理など)を施した木部への塗装はお避けください(塗膜の密着不良・フクレ・色ムラの原因となります)。
 - 木材(表面が堅く吸い込みの悪い木材、加工・薬剤処理の有無が不明な木材など)や旧塗膜の種類によっては、密着・仕上がりに影響する場合がありますので、必ず事前に現場にて試験塗りを行ってください。
- ※4 清水にて3~5%希釈を行い、塗布量0.30~0.40kg/m²(1回塗り)にて全面塗装

■施工についての注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点についてはお問い合わせください。
- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください。また、素地の乾燥を確認の上、付着物、および劣化した旧塗膜・除去物がないことを十分に確認してください(素地調整が不十分な場合は、塗膜の密着不良や変色などの原因となります)。
- ◆塗布量については、現場における素地の表面状態などにより異なる場合がありますので、標準施工仕様書の塗布量を基準に調整してください。また、一度に厚塗りをしないでください(塗布量をこえる厚塗りは塗膜のワレなどの原因となります)。
- ◆塗装中・塗装後、および塗料の取り扱い作業時は換気を十分に行ってください。また特に塗装後は、乾燥のための換気を十分に行ってください(換気が不十分な場合は、乾燥が遅れる原因となります)。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が5%をこえますと、タレや色分かれの原因となりますので十分に注意してください。
- ◆他の塗料とは絶対に混ぜないでください。
- ◆塗膜が溶剤・油脂・皮脂などの影響をうける箇所についてはお問い合わせください。
- ◆各工程前に施工面にホコリ・黄砂などの粉塵が飛来していないことを十分に確認し、次の工程を行ってください(飛来している場合は、適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に取除いてください)。
- ◆可動部(シャッターなど)、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または、塗膜同士が接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆モルタル・コンクリート素地面のアルカリ性が強い場合、塗膜が変色する恐れがあります。樹脂モルタルなどの補修も含め、適切な養生期間を十分に取ってください。
- ◆塗装後、約1週間で本来の塗膜性能を発揮しますので、乾燥後すぐに塗面に物などを長時間置かないでください。
- ◆乾燥を十分確認した後、次の工程を行ってください。特に冬期・梅雨期の施工は気温や湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分に注意してください。
- ◆塗装後、4~5時間は降雨・降雪・結露(夜露)に十分に注意してください(塗膜の密着不良、およびフクレ・色ムラの原因となります)。
- ◆塗装中、および乾燥過程において、降雨・強風が予想される日、気温・素地の表面温度が5℃以下、曇り気湿度が85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆本製品の保管、または運搬については、直射日光・風雨を避け、曇り気湿度が40℃以上、0℃以下の状況には置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

代理店名

IP **インターナショナルペイント株式会社**

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
 TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527
 関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
 TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291
 関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
 TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856
 九州出張所 〒814-0174 福岡市早良区田隈1-14-1
 TEL 092-836-5090/FAX 092-836-5091